



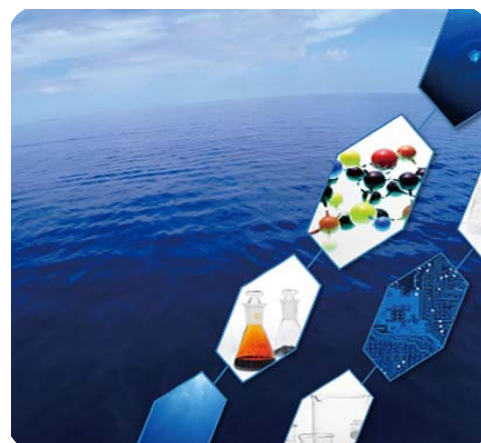
人と化学の未来をめざして
マナック株式会社

CSR報告書

2012

MANAC Incorporated CSR Report 2012

瀬戸内の海から生まれた技術
は進化し、福山から世界へ



編集方針

本報告書は2011年にマナック株式会社福山工場を中心としたCSR報告書として第1版を発行いたしました。今年版からは編集内容を一新し、マナックグループの概要と、マナック株式会社の本社、工場、事業所、支社、営業所及び研究所を対象範囲に含めて掲載しています。

マナック株式会社のCSRに関する考え方や取組みについて、ステークホルダーの皆様にご報告し、身近に知っていただくことを目指して作成しています。

■ 報告対象期間

2011年4月 ～ 2012年3月

■ 報告対象組織

マナック株式会社を対象としています。
なお、マナックグループの概要はマナックグループ連結の数値です。

■ 参考としたガイドライン

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版（G3.1）」
環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

お問い合わせ先

マナック株式会社 環境品質保証室

TEL：(084) 954-3330

FAX：(084) 953-8523

E-mail：info@manac-inc.co.jp

CONTENTS

編集方針	1
トップメッセージ	2
マナックグループの概要	3
マネジメント	
企業理念	4
経営理念	4
中期経営計画	4
コーポレート・ガバナンス	5
内部統制	5
リスク管理	6
コンプライアンス	6
環境への取組み	
マテリアルフロー	7
環境マネジメントシステム	7
省エネルギー	8
地球温暖化防止	9
廃棄物削減	9
化学物質の排出管理	10
環境への配慮	10
安全への取組み	
化学物質安全	12
物流安全	12
労働災害ゼロへ	12
保安・防災	12
社会との関わり	13

トップメッセージ

スペシャリティーケミカルをベースに 社会の進化・発展に貢献します。



代表取締役社長
杉之原 祥二

「グローバル・マナック」の実現をめざして

当社グループは2011年度より「グローバル・マナック」をスローガンに新しい中期経営計画を策定し、「売れモノづくり」「国際市場の開拓」「利益重視」の三つのテーマで取り組んでおります。

当社グループはこれまで国内市場を中心に比較的安定した業績を残してまいりましたが、近年の円高は当社へ直接的・間接的に為替変動の影響を及ぼすと同時に、ユーザー産業の海外シフトは着々と進行しております。この結果、海外品との競争はますます激しくなっております。

今後さらに激化する国際競争の中、当社グループはファインケミカルや臭素の国際市場において、われわれが強みを持つ臭素化・ヨウ素化の技術を活かして「より高い付加価値」を提供し、グローバルニッチ市場での勝ち組をめざした事業活動に取り組んでまいります。

地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信

当社グループは温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開しています。この豊かな自然環境・住環境を守り、次代に永続的に引き継いでいくことも企業の使命であり、マナックの最重要課題の一つととらえています。

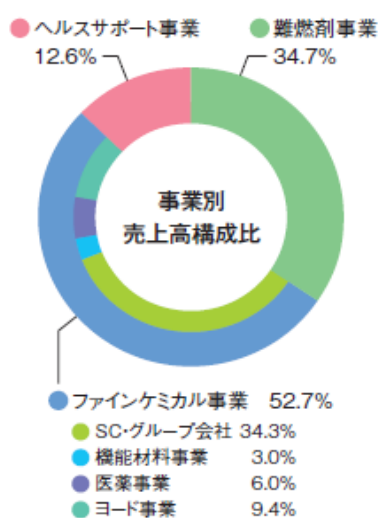
社会的責任を充分認識し、内部統制の有効性を高め、コンプライアンスを徹底して、安全、環境に配慮した事業活動を行ってまいります。経営理念に掲げる「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざして、環境保全とグローバルスタンダードへの対応の強化・拡大を進め、さらなる努力を続けてまいります。

今後とも当社の事業活動にご理解をいただき、さらなるご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

マナックグループの概要

会社概要 2012年4月1日現在

商号 マナック株式会社
 設立 1948年(昭和23年)5月
 従業員数 181名(グループ従業員数327名)
 資本金 17億5,750万円
 証券コード 4364



事業所

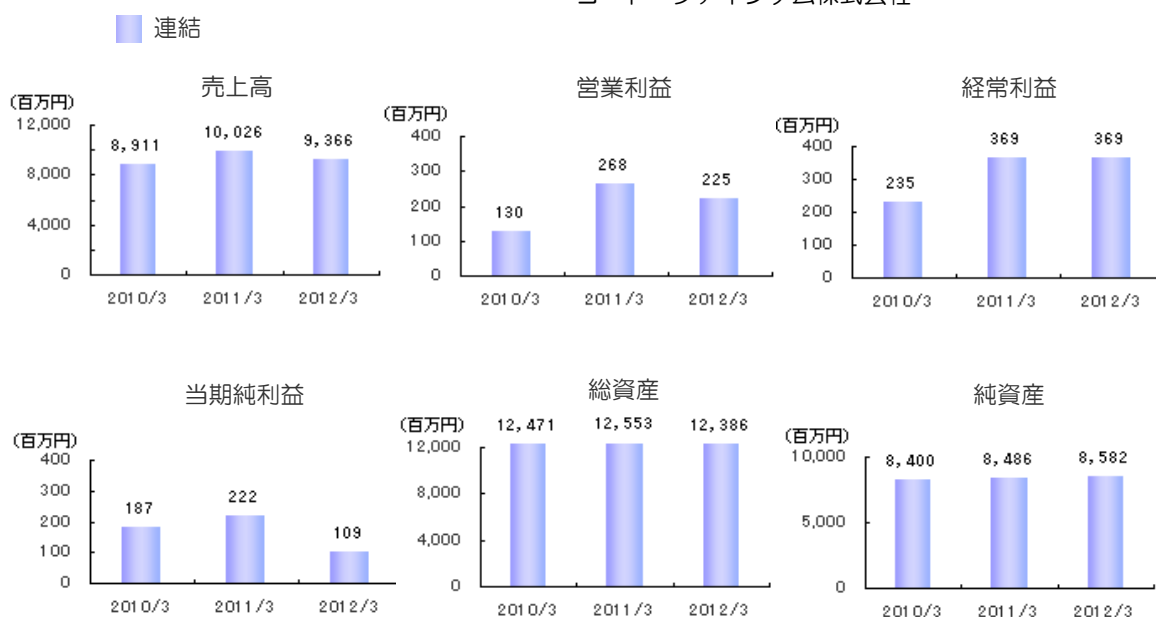
本社・福山工場 広島県福山市箕沖町92番地
 東京支社 東京都中央区日本橋3丁目8番4号
 大阪営業所 大阪市中央区道修町1丁目4番6号
 研究所 広島県福山市箕沖町92番地
 郷分事業所 広島県福山市郷分町950番地の1

子会社

八幸通商株式会社
 南京八幸薬業科技有限公司
 エムシーサービス株式会社

関連会社

ヨード・ファインケム株式会社



マネジメント

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

スペシャリティーケミカルとは、電子・情報・医療といった先端技術産業が求めるニーズ機能を、化学技術を基にして提供する「機能性化学品」をいう。当社は、求められる化学品を単に受託製造するのではなく、それらに関連した情報を求めて組み合わせることにより、オリジナリティーのある製品を提供し、世界への貢献を行う。

経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
信じられ頼られる会社、安全で心配や不安が無く、人の心を動かすことができる会社。
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
英知だけでは価値は生まれない。勇気をもって実行するという行為が伴って、初めて価値を生むことができる。
- 3 明日の未来社会からも注目される会社をめざし、常に『革新』
子供に誇れる会社、明日の社会からも必要とされる会社をめざし、時代の変化に適応するよう、切磋琢磨する。

中期経営計画

「グローバル・マナック」

日本では人口の減少や為替リスクの問題などから、家電メーカーや自動車関連企業をはじめ、多くの企業が生産・販売拠点を海外へシフトしています。化学業界も例外ではなく、後発国が追随しやすいモノマービジネスから、高度な技術を必要とする川下の製品開発の強化が急務となっています。当社でも原材料の入手だけでなく、研究・生産の拠点としての海外、特にアジア諸国の中でも経済成長が著しく、教育も充実し優秀な人材が育ってきた中国あるいはインドなどに注目しています。さらにこのような海外の拠点を足がかりとして、アジアで生産して欧米へ輸出するという世界的サプライチェーンを構成する重要なメンバーとして、この製品ならばマナックだという確固たる地位を築いていくことが必要です。これを実現するために、研究・開発型企業として海外での人材確保も含め、国内・海外の区分を一切取り払った国際企業としての当社の姿を「グローバル・マナック」と銘打って新経営三カ年計画のスローガンとして掲げています。

- ・「先を見据える」
- ・売上高から「利益を積上げる」へ
- ・国内市場+海外から「国際市場」へ
- ・モノづくりから「売れモノづくり」へ



マネジメント

リスク管理

常にさまざまなリスクをあらかじめ念頭において事業活動を行っています。それらのリスクに対応するために、事前の対応と事後の措置として、各種規程を整備しており、リスクを最小限のものにするために必要な社内体制を確立しています。また、大規模地震を想定した事業継続計画（BCP）を策定し、万が一に備えています。



従業員携帯カード

【1】初期対応
 1. 緊急発生時に、速やかに「緊急発生」の警報が鳴り始めるまで待機し、安全な場所へ避難する。
 2. 避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。
 3. 避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。
 4. 避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。
 5. 避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。

【2】行動要領
 1. 避難してからの行動要領は、避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。
 2. 避難してからの行動要領は、避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。
 3. 避難してからの行動要領は、避難経路を確認し、安全な場所へ避難する。

【3-1】3社への連絡方法
 1. 社長
 2. 部長
 3. 課長
 4. 課長補佐
 5. 課長補佐
 6. 課長補佐
 7. 課長補佐
 8. 課長補佐
 9. 課長補佐
 10. 課長補佐
 11. 課長補佐
 12. 課長補佐
 13. 課長補佐
 14. 課長補佐
 15. 課長補佐
 16. 課長補佐
 17. 課長補佐
 18. 課長補佐
 19. 課長補佐
 20. 課長補佐
 21. 課長補佐
 22. 課長補佐
 23. 課長補佐
 24. 課長補佐
 25. 課長補佐
 26. 課長補佐
 27. 課長補佐
 28. 課長補佐
 29. 課長補佐
 30. 課長補佐
 31. 課長補佐
 32. 課長補佐
 33. 課長補佐
 34. 課長補佐
 35. 課長補佐
 36. 課長補佐
 37. 課長補佐
 38. 課長補佐
 39. 課長補佐
 40. 課長補佐
 41. 課長補佐
 42. 課長補佐
 43. 課長補佐
 44. 課長補佐
 45. 課長補佐
 46. 課長補佐
 47. 課長補佐
 48. 課長補佐
 49. 課長補佐
 50. 課長補佐
 51. 課長補佐
 52. 課長補佐
 53. 課長補佐
 54. 課長補佐
 55. 課長補佐
 56. 課長補佐
 57. 課長補佐
 58. 課長補佐
 59. 課長補佐
 60. 課長補佐
 61. 課長補佐
 62. 課長補佐
 63. 課長補佐
 64. 課長補佐
 65. 課長補佐
 66. 課長補佐
 67. 課長補佐
 68. 課長補佐
 69. 課長補佐
 70. 課長補佐
 71. 課長補佐
 72. 課長補佐
 73. 課長補佐
 74. 課長補佐
 75. 課長補佐
 76. 課長補佐
 77. 課長補佐
 78. 課長補佐
 79. 課長補佐
 80. 課長補佐
 81. 課長補佐
 82. 課長補佐
 83. 課長補佐
 84. 課長補佐
 85. 課長補佐
 86. 課長補佐
 87. 課長補佐
 88. 課長補佐
 89. 課長補佐
 90. 課長補佐
 91. 課長補佐
 92. 課長補佐
 93. 課長補佐
 94. 課長補佐
 95. 課長補佐
 96. 課長補佐
 97. 課長補佐
 98. 課長補佐
 99. 課長補佐
 100. 課長補佐

コンプライアンス

この「企業行動憲章」に基づいた企業活動を通じて、公正で透明性のある企業を目指すとともに、当社のステークホルダーをはじめ一般社会からの確固たる信頼を確保し、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えています。

企業行動憲章

2006年7月制定

私たちは、スペシャリティークミカルで社会に貢献するためにこの企業行動憲章を定めます。私たちは、化学技術をベースとして、お客さまに、「より安全で快適な」生活をお届する製品を提供したいと考えています。

1. 私たちは、あらゆる法令を遵守するとともに、高い倫理観をもって事業活動を展開します。
2. 私たちは、良き企業市民として、公の秩序に従い、信義誠実な行動を心掛けます。
3. 私たちは、会社情報を適正に管理し、適時、適切に情報開示し、公正で透明な経営を行います。
4. 私たちは、反社会的勢力とは一切の関係を遮断します。
5. 私たちは、人間の人権と人格を尊重します。
6. 私たちは、株式公開企業として、取引先、株主、投資家、従業員、地域社会との信頼と関係を大切に考えます。
7. 私たちは、地域の環境と安全にも十分配慮します。
8. 私たちは、お客様に満足して頂くため、化学技術を通じて社会に新たな価値を提供します。

コンプライアンス・チェック

その行動は、1. 本当は良くないと思いませんか？
 2. 家族に胸を張って言えますか？
 3. 報道されても毅然としていられますか？

あなたが行動をおこそうときは、いつもこれらのことを自問してください。判断に迷うときは上司に相談しましょう。もし、上司に相談できないことであれば、監査部門などの関係部署にご一報ください。

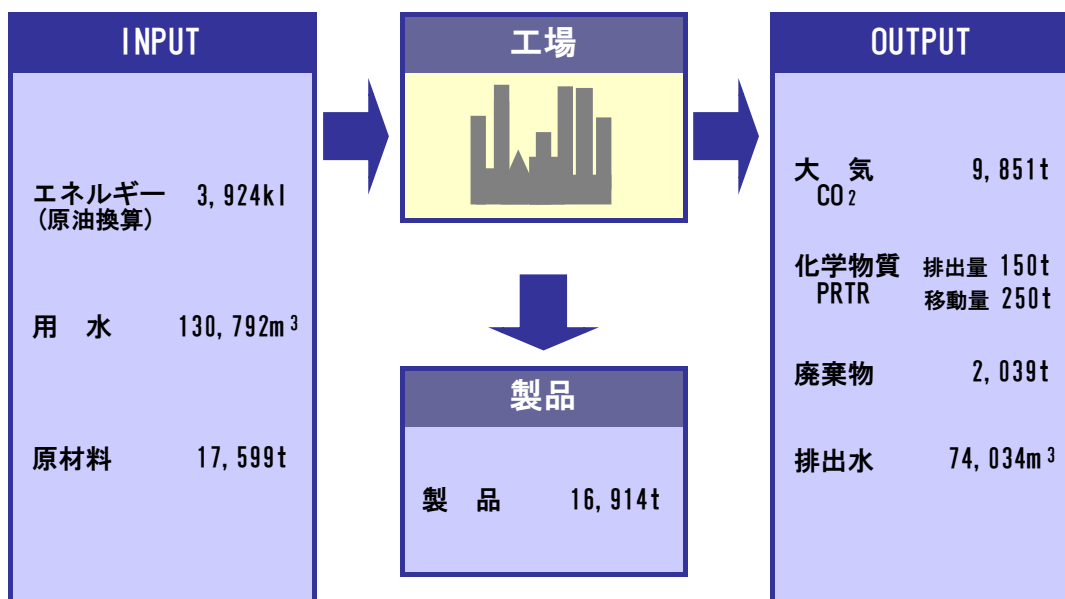
マナック株式会社



環境への取組み

マテリアルフロー

事業活動に伴い消費する資源やエネルギー、廃棄物を定量的に把握し、環境負荷の低減や地球温暖化防止対策の推進を図っています。今後とも省資源、省エネルギー対策に取り組むとともに、廃棄物の削減を推進していきます。



環境マネジメントシステム

「マナック環境方針」に沿った環境への取組み計画の策定と推進、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証取得などにより、環境保全に向けた積極的な取組みを行っています。また、人の生命に係わりの深い医薬品中間体や原薬の生産を行うため、GMP（医薬品の製造及び品質管理に関する基準）の遵守、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証取得などにより、品質管理の徹底を行っています。

■ マナック環境方針

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。この恵まれた環境を守ることも企業の使命であり、環境保全への取組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開します。

1. 環境管理のための体制やシステムを確立し、その運営については定期的な見直しを行うと共に、継続的改善を図ります。
2. 環境保全に関する各種法令・協定等を順守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 生産活動等において、大気への排出の抑制と廃棄物の削減に配慮した環境目的・目標を定め、その実現を図ります。
4. 省エネルギーを中心とした温暖化防止への取組みを進めていきます。
5. 全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、積極的な教育活動を展開・推進します。



環境への取組み

省エネルギー

■ エネルギー管理

2010年4月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」改正により「特定事業者」となり、全社での省エネルギー推進を本格的にスタートしました。また、主力である福山工場は2006年度の改正により電力と熱を合わせて「第一種エネルギー管理指定工場」となっており、高効率な機器への更新と設備保全活動、さらに使い方の工夫も組み合わせて、生産用電力とボイラー燃料の使用量低減を進めています。

2011年度は特に『節電の夏』を重点として、クールビズ、電灯・空調の部分停止などの節電の継続実施に加え、遮熱／遮光や省エネルギー型への更新によるエアコン電力の低減を図りました。

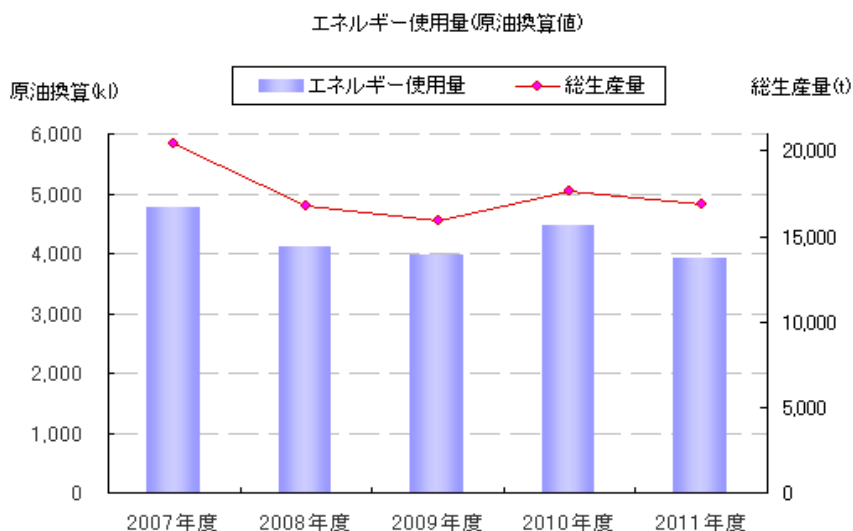
【主な実施事項】

- ・ 省エネ型冷凍機、エアコン、高効率変圧器への更新
- ・ LED電灯の導入
- ・ 屋根の遮熱や緑のカーテン、窓の遮光などにより空調の負荷ピークを緩和
- ・ クールビズ、ウォームビズ、並びに電灯や空調停止などの節電活動
- ・ 冷凍機系の定期整備（熱交換部、冷却塔など）
- ・ 蒸気もれ、保温材補修などの自主点検・自主保全活動

■ エネルギー使用量の推移

2008、2009の両年度は市況の影響により生産が停滞し、エネルギー使用量が減少しましたが、2010年度は福山工場の生産回復に伴い上昇に転じました。

2011年度の総生産量は前年度より4%減少しましたが、さまざまな省エネルギー活動により、エネルギー使用量は12%低減することができました。



(2008年度までは福山工場のデータです。全社データは2010改正に基づき2009年度分より収集しています。)

環境への取組み

地球温暖化防止

■ 温暖化防止

当社の温暖化ガスはエネルギー消費に伴う二酸化炭素(CO₂)の排出が、そのほとんどを占めます。従って、省エネルギー活動がそのまま地球温暖化の防止活動につながります。また、省エネルギーの他にも、ボイラーの燃料転換「重油から都市ガスへ」や廃棄物発生の抑制（産業廃棄物、一般廃棄物）、事業場の緑地整備も温暖化防止活動の一環と位置づけ推進しています。

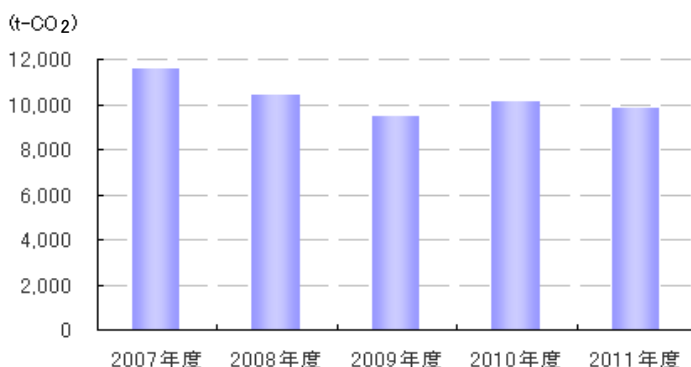
■ 二酸化炭素(CO₂)排出量の推移

2008年8月に燃料都市ガスを導入し、2008年度よりボイラー燃料分のCO₂排出量は大きく下がりましたが、2010年度は生産回復により増加傾向となっています。

2011年度は購入する電力のCO₂換算係数が大きく上がり、電力使用量が減少したにもかかわらず電力分のCO₂は前年を上回りました。このため、エネルギー使用量の12%低減に対し、CO₂排出量は4%の低減にとどまりました。

(※買電のCO₂換算係数は、電力各社のその前年のCO₂排出量実績から算定されます。中国電力では2011年度係数の基となる2010年度のCO₂排出量が1990年度以降で最大でした。)

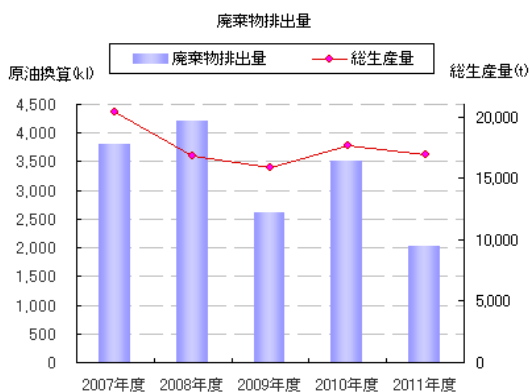
エネルギー使用に伴うCO₂ 排出量



(エネルギー使用量と同様、2008年度までは福山工場のデータです。全社データは2010改正に基づき2009年度分より収集しています。)

廃棄物削減

3R活動に取組み、廃棄物削減に努め、総生産量あたりの廃棄物排出量は減少しています。



■ 主な取組み

リデュース : 工程などの見直しを行い、原料などの使用量を削減し、廃棄物としての発生量を抑制しました。

リユース : 溶媒などは回収し、分析後、品質に影響しないことを確認して、再利用を行いました。

リサイクル : 包材などは再資源化可能な業者を選択し処理委託を行いました。

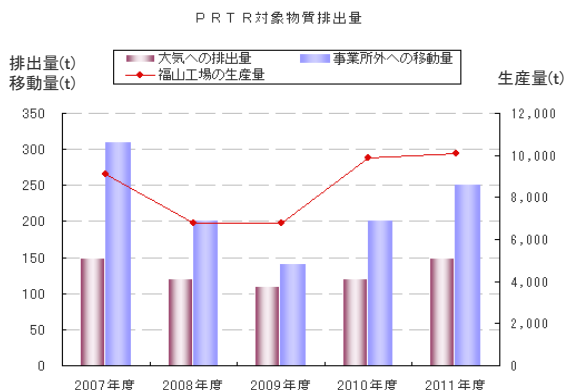
3Rとは

Reduce(リデュース:発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再資源化)、の頭文字をとったものです。

環境への取組み

化学物質の排出管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、その対象事業所となる福山工場においては、化学物質の環境への排出量・移動量を把握しています。種々の取組みを行い、排出、移動の削減に努め、対象物質を取扱う製品の生産量あたりの排出量・移動量は減少していますが、2011年度は対象物質を取扱う製品の生産数量の占める割合が増加したため、排出量・移動量は増加しました。



■主な実施事項

- ・ 設備 : 密閉化の推進
冷却能力の向上
- ・ 工程 : 作業方法の改善
除害装置の適正使用
- ・ 取扱者 : 適切な取扱方法の教育

※PRTRとは

[Pollutant Release and Transfer Register] 人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質について、事業所からの環境(大気、水、土壌)への排出量及び廃棄物に含まれての事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届け出るとともに、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計し、公表する制度です。

環境への配慮

■環境配慮型製品「AdBlue (アドブルー)」

道路輸送の主役であるトラックのディーゼルエンジンに対する環境規制「窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)の減少」は、欧米の排出ガス規制に合わせ世界的に高度な処理技術が要求されています。この対策として、国内トラックメーカー各社は窒素酸化物(NOx)を無害な水と窒素に分解する尿素選択還元方式(SCR)を導入しており、今後とも需要は拡大する傾向にあります。

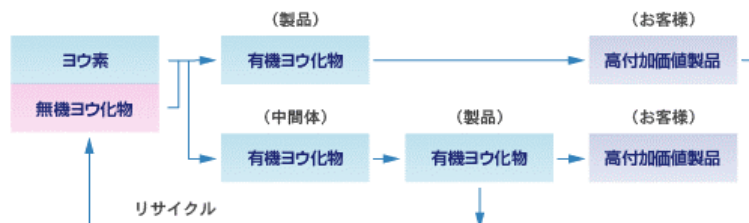
当社のAdBlueはドイツ自動車工業会(VDA)の厳しい品質規格に適合の後、ライセンスを取得し、環境配慮型製品として提供しています。



(アドブルー専用ローリー)

■ヨウ素リサイクルシステム

日本は世界の中でチリに続くヨウ素の2大産出国です。このヨウ素は抗菌・医薬などの幅広い分野に使用されており、当社の得意とする臭素化技術のラインナップとして、2004年にヨウ素関連製品の開発・製造・販売を行う目的にヨード・ファインケム㈱を設立しました。これにより、ヨウ素化合物の効率的生産体制のみならず、ヨウ素化合物からのヨウ素回収リサイクルシステムを構築することにより、競争力のある総合的なヨウ素化合物事業を展開しています。



環境への取組み

■ ガスボイラーへの転換

工場の熱源であるボイラー燃料を重油から燃料都市ガス（LNG）に転換することにより、重油使用時に発生していた窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）を大幅に削減し、燃焼効率の大幅な向上と燃料費及びCO₂の大幅な削減を実現しています。



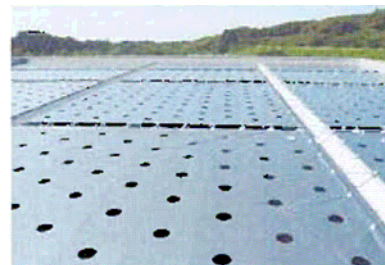
〔高効率ガス焼き貫流ボイラー〕

■ 遮熱対応

省エネルギー対策の一環として、福山工場事務所は遮熱塗装や遮光シート、かずさ研究室では遮熱シートを施すなど、エアコン電力の低減と作業効率の両立を図っています。



〔屋根の遮熱塗装と窓の遮光シート／福山工場事務所〕



〔屋根の遮熱シート／かずさ研究室〕

■ LED電灯の導入

通路灯や屋上灯など、設置可能な場所からLED電灯の導入を始めています。今後、技術・防災面での適合性を確認しながら進めていきます。



〔工場棟屋上／福山工場〕



〔横断歩道灯／福山工場〕

■ その他活動(クールビズ・ウォームビズ他の実施)

地球温暖化防止活動の一環として、全社活動を実施しています。エアコンの使用基準の明確化、不要照明の消灯や待機電力削減など、幅広い対策を推進し、電気使用量の削減を実施しています。



〔グリーンカーテン／研究所〕

安全への取り組み

化学物質安全・物流安全

便利で快適な私たちの生活は、さまざまな化学物質に支えられていますが、これらの化学物質は多くの法令などにより規制されています。各種法令を遵守し、安全な取扱いを心掛けています。

- MSDS 化学物質の性状及び取扱いなどに関する情報が記載された化学物質安全データシート（MSDS）を作成し、お客様に提供するとともに、社内の担当者にも通知し、取扱い時の注意喚起を促しています。
- ラベル 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）に基づいたラベルへの対応を進めています。
- イエローカード 万が一の輸送中の事故に備え、物流安全指針に沿って、運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を記載した緊急連絡カード「イエローカード」を作成し、輸送中の注意喚起を促しています。



(MSDS)



(ラベル)



(イエローカード)

労働災害ゼロへ

基本ルールの遵守と守られるルール作り、先取り安全による種々の安全・衛生活動により、安全とコンプライアンスを重視した、「事故・災害 ゼロ」の信頼される工場を目指しています。安全衛生委員会と委員会内に設けたワーキンググループにより、テーマ毎に検討を行い、安全衛生に関する活動を展開し、安全第一の文化を推進しています。

■主な実施事項

- ・ 部署別管理の推進と定期報告
- ・ ワーキンググループによるテーマ別活動の推進
- ・ 社内外の講習会開催（毎月2回実施）
- ・ 安全衛生パトロールの実施（役員、安全管理者、衛生管理者、産業医）
- ・ 危険に対する感受性の維持・向上活動（危険予知活動の実践 K Y T、指差し呼称、ヒヤリ・ハット推進）
- ・ ヒューマンエラーへの継続的対応
- ・ 全国安全週間、全国労働衛生週間行事などの企画、実施
- ・ 5Sの推進
- ・ 外部関連団体との連携など



(安全衛生パトロール)

保安・防災

■防災訓練

自衛消防隊組織を編成し防災訓練を実施しています。2011年度は、地域の公設消防（福山消防）との合同訓練も実施しました。



■避難訓練

東南海・南海地震による津波を想定し、高台への避難訓練を実施しました。



社会との関わり

■ 福山箕沖団地協議会への参加

福山市箕沖町の工業団地各会員企業の連携と親睦を図るとともに、地域社会に貢献する目的として活動しています。

【環境改善対策】

- ・ 街路灯管理……定期的な保全の推進
- ・ 清掃活動……団地内一斉清掃の実施
- ・ 放浪犬対策……愛護センターと連携した保護活動の実施

【会員相互の啓発親睦】

- ・ 各種競技会への参加



(サッカー大会)

■ AED

AED（自動対外式除細動器）を本社・福山工場と郷分事業所へ2007年10月に設置し、万が一の場合には一般の方も使用出来る対応としています。緊急時に誰でも扱えることを目的に全国労働衛生週間の社内行事として、製造メーカーの担当者を外部講師にお招きし、社員への定期的な説明会を開催しています。



(福山工場/事務所入口)



(本社・福山工場説明会)



(東京支社説明会)

■ 美化活動

本社・福山工場では清掃日を設けて、工場に隣接する歩道などの清掃を実施しています。また、かずさ研究室では同パーク街づくり協議会の事業の一環として、ごみゼロ運動（環境美化、ボランティア清掃）に参加し、パーク内全域のポイ捨てゴミ・不法投棄物などの収集・撤去を実施しています。



(本社・福山工場)



(かずさ研究室)

■ サイエンスラボ

2011年11月に、福山大学・びんご地域中学高等学校連携サイエンスラボへ当社の女性研究員が参加いたしました。本プロジェクトは中高生の理系進路選択者の増加を図ることに加え、理系進路選択領域の拡大を到達目標としており、当社の事業や女性研究員の役割紹介、分析化学実験などを行い、参加学生に理工系を身近に感じていただきました。



(実験風景)



(事業説明風景)

社会との関わり

■ 献血活動

社内厚生活動の一環として、福利厚生 厚生部を窓口として毎年秋に献血活動を実施しています。人命救援に関わる本活動は医薬品を扱う企業として社員の意識高揚とも合わせ今後とも継続していきます。



(福山工場内にて)

■ インターンシップ

本社管理部では大学生が授業で学んでいる理論や知識を実際に企業内で実習、就業体験をしていただくインターンシップをお受けしました。学生の皆様が将来社会に出て自主性、独創性のある人材として、活躍していただくための研修の場として活用いただいています。



(ミーティング中)

■ チャレンジウィークふくやま(福山就業体験)

2011年8月 当社郷分事業所において近隣中学校の2年生が参加して職場体験学習を行いました。「仕事」を実際に体験し、「挨拶や礼儀の大切さ」「働くことの大切さ」「毎日働いている保護者への感謝」など、普段の学校生活では経験できない多くのことを学ばれています。



(感謝状)

■ 福山市主催環境活動への参加

従業員の意識高揚として、日常生活での環境活動として『エコでえ〜ことキャンペーン』に協賛、参加しました。

【レジ袋削減コース】

参加協力店で買い物をするときは、マイバッグなどを利用しレジ袋を断る。

【節電コース】

12月~2月分の使用電力量を前年同月より削減する。



■ 功労者県知事表彰

第28回広島県薬事衛生大会において、薬事衛生の普及や業界の育成指導など保健衛生の向上に尽力している個人、団体の功績を称える「薬事功労者県知事表彰」を受賞しました。

